



ほたる舞う学び舎

令和2年度 7月号

# 学校だより



あきる野市立一の谷小学校 校長 池戸龍一

い 命・人権・平和を大切に  
ち 力いっぱいがんばり  
の 伸び伸びと  
た 楽しく活動  
に ニコニコ笑顔の絶えない  
「いちのたに」の子

## 星に願いを そして夢を実現する力を

校長 池戸 龍一

有名な「星に願いを」という曲は、1940年のディズニー映画『ピノキオ』の主題歌として、コオロギのジミニ・クリケットが歌ったもので、ディズニーを代表する曲の1つです。この曲を聴くと、なんだか心が落ち着き、温かい気持ちになります。今月の7日は七夕です。映画の場面のように、日本では昔から星に願いを届ける日でもあり、来週6日の全校朝会は、子供たちにそんな星のお話をしたいと思っています。各ご家庭におかれましても、コロナウィルスのために辛い思いや寂しい思いをしている子供たちに、夜空に輝く星を一緒に見たり、ゆっくり話をしたりする時間をとっていただけたら、と願っております。



さて、この歌詞の中に、「If your heart is in your dream, no request is too extreme. When you wish upon a star as dreamers do.」とあります。訳すると「君の心はその夢を想っていれば、なにも特別なことをする必要はない。夢見る人がみんな、そうするように、星に願いをかければ良い。」となるようです。

ここで言う夢は、寝ている間に見る夢ではなく、将来、私はこうでありたい、こうなりたい、という夢です。夢や目標をもった人は強いし、壁にぶつかった時、それを乗り越える力をもっています。逆に夢や目標がない人は、進むべき道が分からず迷ったり、壁にぶつかった時に簡単にあきらめてしまったりするかもしれません。であるならば、私たち大人は、子供たちが夢や目標をもてるような応援をしていきたいものです。まず、学校がその推進役を果たしていく使命があると自覚しております。新学習指導要領のキーワードの一つに「学びに向かう力の育成」が謳われています。

「何のために学ぶのか」その答えの一つは、一人一人の夢の実現であると思います。そういう意味では、教科の学習はもちろんですが、授業以外の活動である行事や学級活動をはじめとする特別活動、給食時や掃除、休み時間、そして失敗やトラブルでさえも、全て夢を実現する上で大切な学びとなります。この度の新型コロナウイルスでさえも、予測不可能な未来を生きる子供たちにとって大きな学びとできるよう、日々の教育活動に努力、工夫してまいります。引き続きご理解ご協力の程、よろしく願いいたします。



どんな願いを届けるのかな★